

総評が抗議声明

総評幹事会は六月十七日、「沖縄返還協定」調印に対する抗議声明を発表し、「いわゆる、核抜き、本土なみ、七二返還」の三原則が貫かれたとしているが、これはまったくの偽りであり、国民を欺くものと政府を糾弾した。総評の抗議声明は次のとおり。

偽りの「沖縄返還協定」、闘いとうろ、基地なき沖縄

一、調印にあたり、いわゆる「核抜き、本土なみ、七二返還」の三原則が貫かれたとされているが、これはまったくの偽りであり、国民を欺くものと政府を糾弾した。総評の抗議声明は次のとおり。

三池では、あはれど大きな被害をひき起こしているが、依然として被害が継続している。当然ながら、「五千人・二万トン体制」の質における強化をめざす、気遣いした三井三池の合理化計画が問題化してきた。このことについて、このほど宮浦指導部の開発・測量・検出職場分会の新聞「もっこす」が、社内報の「三池時報」の記事の内容を紹介し、会社のねらいをバクロした。注目すべきではないか。

二万トン体制の目標は？

少数精鋭主義の確立

役立たずは職員も切捨て

「もっこす」の記事

最近、現場での係員たちの眼色が変わっているという。

昭和四十六年一月号「三池時報」に、三池炭鉱人事課教育係から職員一同に訓令のようなものがだされておられ、それによれば

(1) 必然的な減員傾向について
四八年度目標——二万トン(三池の石炭日産額で、三池闘争前ごろの目標は二万トンだった)が、体制の横すべり。

能力——一人当たり二〇〇トン
鉱員数——五、二〇〇人(現在六、二〇〇人)
職員——一、〇〇〇人(現在一、二七〇人)

(2) 能力向上に必要な自己啓発
技術的には全採炭切羽の自走採炭。

ロ、生産意欲の向上
出勤向上。
職員の場合、四十六年四月実施目標の新人制度による職員の能力開発促進をねらった。

きびしい石炭業界の中で生きのびるためには合理化による体質改善を必要とし、これらの能力主義少数精鋭主義の時代において自己

啓発による能力向上は、ぜひ必要であるといっており、なお「むす

事務局長通信

「共同定期総会」
向佐未定ノ

「共同定期総会」
向佐未定ノ

各地で守る会活動

各地に、CO患者を守る会が誕生して活動しているが、この苦しい活動について報告する二つの便りを紹介する。

川原さんの便り

前略、三池炭組の役員の方々はじめ組合員の皆さん、お元気ですか。CO患者・遺族を守る闘いを中心に、反合理化闘争をおし進めていこうと思っております。

私たちの住む浦和地域にいま四つのまなぶサレクルがあり、三池に学べと頑張っております。

加古川・高砂地区CO患者を守る会は、機関紙「事務局通信」を発行している。こんど4号が送ってきたが、それによると近く第1回定期総会を開いて活動を総括し、今後の闘いについての討論を行なうという。

住友資本、改めて閉山提案

住友のその後の事態が心配されているが、二十三日の朝日新聞が次のように伝えた。

経営不振にあえぐ住友炭鉱(川副官次社長)は二十二日、同社の主力炭鉱の一つである特別炭鉱所を閉山する方針を決め、特別炭組(千原三郎委員長、組合員千七百三十三人)に通告した。

銅島さんの便り

討論を積みあげ、市議選で三人のうち一人を当選させることができました。またその中で、まなぶの読者もふやしました。

選挙戦の中で、第八回三池にまなぶ全国集金に参加した村上君を中心準備をすすめる、五月にむすか三人で「三池のCO患者・遺族を守る会」を結成することができました。一生懸命頑張りたいと思います。

なほ会の役員は、次の通りです。
会長 長村 正義
事務局長 川原 茂
なほ川原茂さんのお住所は「浦和市太田二二二〇、瀬山アパート」。

なほ川原茂さんのお住所は「浦和市太田二二二〇、瀬山アパート」。

なほ川原茂さんのお住所は「浦和市太田二二二〇、瀬山アパート」。

返還闘争の先頭に立ちとう

沖縄返還協定抗議集会が決意

こんど佐藤政府がアメリカ政府との間に調印した沖縄返還協定は、予想されていた以上にひどい内容のものだから、全国民の間には改めて「偽りの沖縄返還協定反対」「基地なき沖縄の返還」の闘いがあわやうと燃えあがっている。

協定当日の十七日、大牟田の労働者は、佐藤公園内の音楽堂で開催された、軍国主義化する、国民・県民不在の沖縄返還協定反対集会に参加した。

「コマカンの返還協定に労働者のこの怒り」



お願い

組合員・主婦の皆さん、そこかしこのCO患者を守る会から、いつも心のある激励が送られてきます。どうかお返しの手紙でも、交流をお願いします。

(編集部)